

# まんが喫茶人気再燃

漫画本を図書館並みにそろえた「まんが喫茶(まん喫)」が、インターネット使い放題、シヤワー設置などサービスをアップして、人気を取り戻している。漫画で育った二十代から四十代の男女を中心に、ひとときの癒やし現場になっているようだ。

▽自筆よりいい  
「コミックバスター・エムドライブ西中島店」はJR新大阪駅近くに昨年一月、オープンした。漫画本は新旧合わせて約

二万冊。木製の壁で間仕切りされた二十七八の席に、コンが置かれ、ふかふかが備えられている。

## 多彩なサービス競う

男性店員はスーツにネクタイを着用して高級感を演出。間接照明でやや暗めの店内には、ジャズが静かに流れている。

漫画を読むだけでなく、無料で使えるパソコンでゲームにぶける若者も多い。料金は最初の一時間が四百二十円で、コ

ーヒーやジュースなどはお代わり自由。一日に会社員ら約百三十人が来店するといふ。

「上質な安らぎの空間を提供したい」と佐藤誠店長。「昼休みに弁当を持ち込んでひと息入れる方や、仕事帰りに立ち寄って二、三時間のんびり過ごされる方が多い」

近所で一人暮らしの男性(三三)は「自分の部屋より居心地がいい。同い年の女性は「誰にも邪魔

しやれた雰囲気「まんが喫茶」で足を伸ばしてくる女性―東京都新宿区



## 「気持ちよく暇つぶし」

されず、自分のペースで漫画を読むと心からくつろげます」と話す。

▽女性重視  
高田馬場の「ルシエルシエール」は、一日二百人以上の利用者のほ

ぼ半数が女性だ。約三万五千冊の漫画本の約三割が少女コミックで、女性が

「喫茶店やレストランだと長居しづらい。まん喫なら気持ちよく暇つぶしできます」と会社員の女性(三〇)。

業界団体「日本複合方

フェ協会」(東京)によ

ると、まん喫は一九八〇

年ごろ名古屋で誕生。バ

ブル経済とともに全国に

広まったが、「まんが喫

茶イコールおたくの集ま

る場所」とのイメージが

強まり一時衰退した。

九〇年代後半からレス

トラン並みの食事やネイ

ルアートなど個性的なサ

ービスを導入して再び急

成長、昨年の一年間で約

五百店も増え、計約三千

店に達している。お客の

ニーズを取り込んで再生

したまん喫、さて次の一

手は？

「女性には清潔感が大

事」(山本裕美店長)

と、いすや机、ヘッドホ

ンなどは使用後にアルコ

ール消毒している。

